

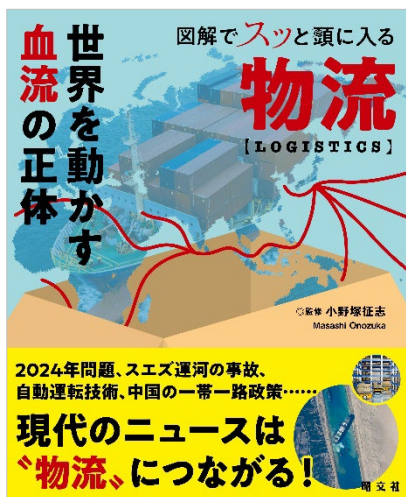
2025 年 12 月 8 日 株式会社 昭文社ホールディングス
株式会社昭文社

シリーズ累計発行部数 100 万部突破！
最新刊は現代社会の生命線「物流」をクローズアップ

＜物流＞がわかれば世界が見えてくる！ 『図解でスツと頭に入る物流』 12/22 発売

～2024 年問題、スエズ運河の事故、自動運転技術、一帯一路…世界を動かす「血流」の正体を紐解く書～

株式会社昭文社ホールディングス（本社：千代田区麹町、代表取締役社長 黒田茂夫、東証コード：9475）とその子会社である株式会社昭文社（本社：同上、代表取締役社長 川村哲也、以下昭文社）は、このほど累計発行部数が **100 万部** を突破した大人気シリーズ「スツと頭に入る」の最新刊として、『**図解でスツと頭に入る物流**』を 2025 年 12 月 22 日より発売することをお知らせいたします。



＜左：表紙、右：代表誌面＞

)) ニュースの裏側にある「物流」のドラマを可視化！ ((

グローバル化が進む現代、私たちの暮らしは世界中を行き交う**物流**によって支えられています。しかし今、ウクライナ侵攻や中東情勢、中国の一帯一路構想、さらにはトランプ関税といった**国際情勢の変化**により、その物流網が大きな影響を受けています。

本書は、普段目に見えにくい物流の仕組みや、世界の物流拠点・輸送路、さらには各国の戦略や課題を、地図と図解を使ってわかりやすく解説した一冊です。

「**2024 年問題**」や「**スエズ運河の事故**」、「**自動運転技術**」といった現代の重要トピックも網羅。モノの流れ（血流）を見ることで、国際社会や世界経済の仕組み（正体）がスツと頭に入ります。



＜プロローグ 写真から
《世界の物流》を見る＞

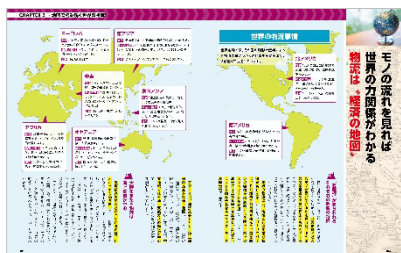


＜世界物流市場の
現在とこれから＞

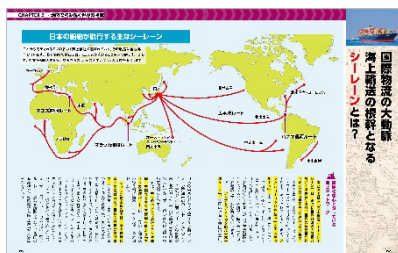


＜「経済の血流」
物流の機能と役割＞

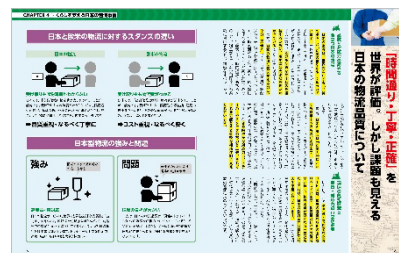
2025 年 12 月 8 日 株式会社 昭文社ホールディングス
株式会社昭文社



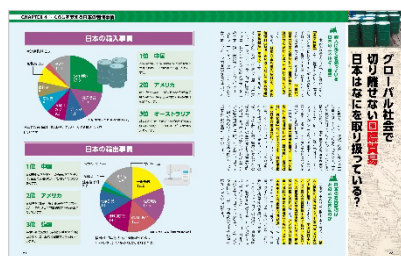
<物流は《経済の地図》>



<シーレーンとは？>



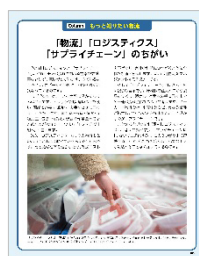
<日本の物流品質について>



<国際貿易 日本はなにを
取り扱っている？>



<Column 例 物流の未来
を指し示す人流の変化>



<Column 例 「物流」
「ロジスティクス」「サブ
ライチェーン」のちがいを>



<Column 例 未来を
つくる「宇宙物流」>

)) 本書の注目ポイント ((

|| ビジュアルで直感的に理解

複雑な輸送ルートやサプライチェーンの仕組みを、豊富な地図や図版で解説。文字だけでは理解しにくい「モノの流れ」が一目でわかります。

|| 最新の物流トレンドを網羅

自動運転やドローン配送、物流 DX（デジタルトランスフォーメーション）といった最新技術から、環境に配慮した「グリーンロジスティクス」まで、物流の「いま」と「これから」を解説します。

|| 世界と日本の物流事情を比較

アメリカ、ヨーロッパ、中国、東南アジアなど世界の物流事情に加え、島国である日本の物流の特徴や「ガラパゴス」とも呼ばれる独自ルール、災害対策などの国内事情も掘り下げます。

)) 誌面構成 ((

|| プロローグ 写真から<世界の物流>を見る

◆スエズ運河 ◆上海港・洋山埠頭 ◆マラッカ海峡 ◆貨物専用機 ◆大型物流センター

|| CHAPTER1 世界の物流の「いま」と「これから」

◆インターネット通販時代の新常識 ◆物流で世界の共通言語を作ったコンテナリゼーション ◆ワクチンを世界へ運んだコールドチェーン ◆「最適」なモノの動きを AI とともに考える物流 DX ◆解決のための新しい取り組みとは？「ラストワンマイル」問題 ◆環境と運び手たちのこれからを守るためのグリーンロジスティクス ほか

|| CHAPTER2 知っておきたい物流の基本

◆モノの流れをコントロールする「経済の血流」物流の機能と役割 ◆物流の持つ 6 つの機能（輸送・保管・荷役・流通加工・包装・情報） ◆あらゆる場所をつなげる国内輸送の要・トラック輸送 ◆陸路での長距離輸送の中心となる・鉄道輸送 ◆大量輸送の担い手として国際物流を支える・海上輸送 ◆スピードなら随一の輸送手段・航空輸送 ほか

|| CHAPTER3 地図で読み解く世界の物流事情

◆モノの流れを見れば世界の力関係がわかる ◆アメリカの東西を結ぶ巨大な輸送網（大陸横断鉄道・ハイウェイ） ◆成長のカギになった現代のシルクロードと巨大 EC 市場（中国） ◆国際物流の大動脈・海上輸送の根幹となるシーレーン ◆船舶輸送上の戦略的な要衝「チョークポイント」 ほか

|| CHAPTER4 暮らしを支える日本の物流事情

◆トラックと船が中心？ 四方を海に囲まれた日本で生まれた独自の輸送スタイル ◆都市と都市をつなぐ内陸物流の中心・高速道路と鉄道網 ◆物流業界の人手不足が深刻化！「2024 年問題」 ◆災害大国日本 困難を乗り越えながら目指す非常事態でも止めない物流 ほか

)) 監修者プロフィール ((

|| 小野塚 征志（おのづか・まさし）

ローランド・ベルガー パートナー。慶應義塾大学大学院修了後、富士総合研究所などを経て現職。ロジスティクス／サプライチェーン分野を中心に、企業経営を支援する多様なコンサルティングを展開。経済産業省「産業構造審議会 商務流通情報分科会流通小委員会」委員、国土交通省「総合物流施策大綱に関する検討会」構成員などを歴任。

近著に『ロジスティクスがわかる』『ロジスティクス 4.0』『サプライウェブ』（いずれも日経 BP）、『DX ビジネスモデル』（インプレス）など。

)) 商品概要 ((

商品名 : 『図解でスッと頭に入る物流』
体裁・頁数 : B5 変判、本体 144 頁
発売日 : 2025 年 12 月 22 日
全国の主要書店、オンラインストアで販売
定価 : 1,980 円（本体 1800 円＋税 10%）
出版社 : 株式会社 昭文社